

山間部の大豆栽培は「シュウレイ」が有望！

山間部では、年により大豆収穫時期の11月中～下旬には降雪に見舞われ収穫できなくなるため、熟期の早い大豆品種「シュウレイ」が有望です。

○本県の山間部における大豆栽培の問題点

- ・収穫時期が11月中～下旬と遅く、収穫期に降雪に見舞われる場合があります。
 - ・地球温暖化から最低気温が高く推移し、葉の黄化・落葉が遅くなっています。
- 以上から、収穫作業の遅れによる、収量及び品質低下を生じています。

○農業技術センターの取り組み

熟期の早い大豆新品種を選定するため、長野県が育成した「シュウレイ」について、飯南町長谷地区で現地調査を実施しました。

- ・「シュウレイ」は、本県奨励品種の「サチユタカ」と比べて成熟期が3週間以上早いため、10月中の収穫が可能（写真1、表1）。
 - ・収量及び品質が優れ、大粒で味噌や豆腐への加工適性も良好（図1）。
 - ・着莢節位が高くコンバインで収穫しやすい。（表1）
 - ・大豆の主要病害である紫斑病やダイズモザイク病に強い。
- 以上から、「シュウレイ」が山間地に適すると認められました。



写真1 「シュウレイ」成熟期の様子（左：サチユタカ、右：シュウレイ）

表1 生育特性（平23～25年の平均値）

	シュウレイ	サチユタカ
播種期：	5月27日	5月28日
開花期：	7月15日	7月26日
成熟期：	10月21日	11月13日
最下着莢節位高：	15.4cm	11.1cm
百粒重：	40.0g	37.2g

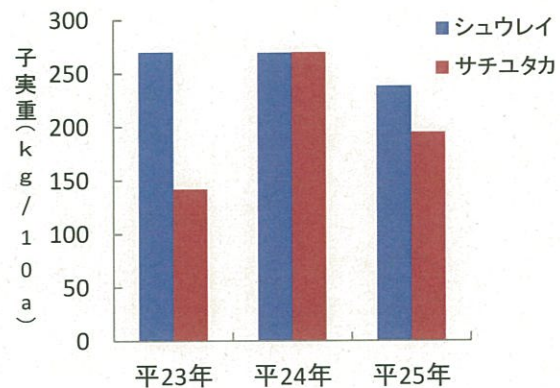


図1 シュウレイとサチユタカの子実重